
あお空

桜夜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あお空

【Nコード】

N1432C

【作者名】

桜夜

【あらすじ】

あたしと重ねた日々は、あなたにとって必要なものでしたか？…
…あなたと過ごしたあの日々は、あたしにとって宝物でした。

・プロローグ

＊

この瞬間も確実に、想い出になってゆく。

こうしてキミと手を繋いでいる現在が、過去になる。

——泣いたり、笑ったり、怒ったり、へこんだり。

当たり前の様に過ぎ去っていく日々を、愛しむ日が必ずやってくる。

……それを、教えてくれたのはあの人だった。

『この空は、俺の空。俺の名前が“あお”だから青い空はあお空ってゆーんだぜ』

今も……そうやって、自信満々で馬鹿みたいに笑ってよ。

愛してるって、あたしに言ってよ。

大好きだって、言葉を紡いで——。

あの人と過ごしたあの日々を皮肉にも愛しんでいるあたしは、あ
お空を見て涙を零す。

あの人へと溢れた想いがカタチとなって、頬に伝う。

誰かに会えば、重ねた記憶が奪い取られてしまうでしょう？

「だいす、き」

喉を震わす声はあの人へ紡いだ想いが、零れてしまう——。

色褪せていく思い出たち。

過去と現在を繋ぐのは、あの日と同じ美しく澄んでいる“あお空”。

あたしとアナタを繋ぐ、唯一の絆。

——あお空。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1432c/>

あお空

2011年1月26日13時05分発行